

建設業特有の課題に対応するための現場リーダー研修 建設業のための現場管理者養成講座 (2月開講)

研修のねらい

人手不足や地域の過疎化が進む中、建設業には地域を支え、次世代に誇れる現場をつくる力が求められています。若い人たちが集まりたくなくなる魅力ある職場づくりの鍵は、現場リーダー一人ひとりの成長です。

本研修では、リーダーシップ・コミュニケーション・問題解決の3つの力を中心に、参加者同士の対話や体験を通して学びます。現場で起きる課題を自ら考え、仲間とともに解決へ導く実践的な力を育み、チームが成長し続ける現場づくりを目指します。

研修のポイント

- ✓ 建設業の現場を想定した、業界特化型のリーダー研修です。
- ✓ リーダーシップ、コミュニケーション、問題解決といった、現場リーダーに必須のスキルを学びます。
- ✓ 一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会 CPDS認証講座 (21ユニット取得可)

研修期間

2027年 2/8(月) ~ 2/10(水)
(3日間 21時間)

対象者

管理者、新任管理者、その候補者

定員 25名

受講料 32,000円(税込)

会場

中小企業大学校 旭川校

旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号

月 日	時間	科目	内容
2/8 月	10:20 ~ 10:30	開講式・オリエンテーション	
	10:30 ~ 12:30	現場管理者のあるべき姿	◆ 仲間とともに成長し続ける現場管理者をめざす ◆ 地球環境と建設業の未来をつくる仕事の誇りを再確認する ◆ AI時代に求められる人間の力と現場管理者の価値 ◆ 現場トラブルに対応できる現場管理者のあるべき姿
	13:30 ~ 18:30	建設業の今後10年 現場管理者に求められるリーダーシップ	◆ 地域の未来を読み解き建設業の使命と価値を考える ◆ 新4Kで描く、これからの働き方と人が集まる現場づくり ◆ チームが自ら動く環境をつくるリーダーシップを学ぶ ◆ 現場がスムーズに回る関係づくりと伝え方のポイント ◆ 成長とやる気を引き出す現場コーチングをカードで体験する
	18:45 ~ 20:15	交流会	安心して語り合い、研修後も支え合える「つながり」づくり
2/9 火	9:00 ~ 12:30	建設業にコミュニケーションが求められる理由	◆ 話が伝わりやすくなる段取りと空気づくりのコツ ◆ 世代間ギャップから学ぶコミュニケーションの基本と実践法 ◆ “伝えたつもり”をなくすミスコミュニケーション対策
	13:30 ~ 16:00	協力会社や地域社会への説明力と折衝力	◆ 納得感につながるわかりやすい説明方法 ◆ クレームやカスハラに冷静に対応する対話スキルを高める ◆ 合意形成を進める調整力と折衝の実践を学ぶ
	16:00 ~ 18:00	現場で発生する問題の解決法	◆ 問題を正しくとらえ、原因の本質を見抜く視点を持つ ◆ 理想の状態を描き、課題を前向きに捉える発想法を身につける ◆ 現場・会社の課題を共有し、解決テーマを選ぶ ◆ 課題に挑戦し、S.C.O.R.E.モデルで解決策を導き出す ◆ 解決提案を受けて自分の課題を見直し、行動計画へつなげる
2/10 水	9:00 ~ 12:30	現場で発生する問題の解決法	◆ 現場・会社の課題を共有し、解決テーマを選ぶ ◆ 課題に挑戦し、S.C.O.R.E.モデルで解決策を導き出す ◆ 解決提案を受けて自分の課題を見直し、行動計画へつなげる
	13:30 ~ 16:00	効果的な現場管理のための行動計画	◆ 計画倒れにしない行動設計と実行の仕組みをつくる ◆ 仲間と支え合い、前向きに挑戦できる環境を整える ◆ 自らの言葉で行動宣言し、新たな一歩を踏み出す
	16:00 ~ 16:20	終講式	

※研修内容・日程等は変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



Efyees (エフィーズ) 株式会社
代表取締役

小宮 勇人 (こみや ゆうと)

埼玉県さいたま市出身。明治大学理工学部建築学科を卒業後、建設会社にて10年にわたりマンション等の建築現場監督を務める。延べ5,000名以上の職人を監理・統率してきた経験を活かし、人材育成の専門家として独立。現場監督の経験と独自の研修スタイルで「やる気」「自主性」「責任感」を育てる建設業人材育成の手法が注目を集め、業界新聞にも掲載される。主に企業向けの人材育成研修や安全大会の講演(延べ17,000名以上)、組織活性コンサルティング、経営者向けコーチング等を実施し、お客様の売上大幅アップを実現するなど、高い評価を得ている。資格：一級建築士、一級施工管理技士、全米NLP協会公認 マスタープラクティショナー、日本メンタルヘルス基礎心理学修了 著者：安全小冊子『整理整頓・点検整備・作業手順のポイント』(清文社)、『安全の「心・技・体」で未然に防ぐ繰り返し災害』(清文社)

